

療育研修会

北海道地方 本部

◆テーマ 筋ジストロフィー患者の移動支援 講師 竹田 保

筋ジストロフィー患者はもとより北海道で生活する障がい者にとって移動の問題は

切実である。雪が降り積もるとタイヤがスリップし身動きが取れない。また気温が

下がると筋肉が拘縮し手が動かなくなり、電動車椅子のジョイスティック操作が

できなくなってしまう。自由に外出できる環境が整っている社会であってほしいが、

以前道内の移送サービス、介護タクシー等の配置状況を調査したところ約30の市町村に

移動困難者が外出できるリフト付車両のサービスが存在していないことが分かったため

患者会として行政に配置するよう要望していく。

◆テーマ 筋ジストロフィー患者の移動実技 講師 川口 雅紀

車いすを押す、引くは基本的な介助であるが、筋ジストロフィー患者の車いす介助

においては前輪を上げた時に首が後ろに倒れてしまう。首が後ろに倒れてしまったら気

道が空いてしまい、声が出なくなってしまう。障がいの特性を理解して介助を行い、

本人の意向に沿い身体に出来るだけ負担のかからない介助を行うことが必要である。

療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 20

テーマ ◆筋ジストロフィー患者の
移動支援

◆筋ジストロフィー患者の
移動実技介助

講師 社会福祉
主事 竹田 保

訪問介護員 川口 雅紀

実施場所 日本赤十字北海道看護大学



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

障がい者の福祉制度が昔よりは充実してきているようであるが、それでも道内には

送迎を行ってくれる事業者がない自治体があることに驚いた。

療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 20

テーマ ◆筋ジストロフィー患者の
移動支援

◆筋ジストロフィー患者の
移動実技介助

講師 社会福祉
主事 竹田 保

訪問介護員 川口 雅紀

実施場所 日本赤十字北海道看護大学



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

前輪を上げた時に介助者の身体が後ろにあると首が倒れないし、安心感があった。

首を後ろに傾けると本当に声が出ず、呼吸をするのが苦しかった。
